

海つぎ

白木半島地区コミュニティ協議会

〒742-2922

周防大島町沖家室島481番地
(旧沖家室小学校)

TEL・FAX：0820-78-0604

2024年4月15日発行 春号

白木半島地区の最近のあれこれ

これからも力を合わせて 夢プランの実現を！

白木半島地区コミュニティ協議会会長 新山玄雄



7年経ちました

白木半島地区コミュニティ協議会が2017年に発足してから、早いもので7年経ちました。この間、コロナ禍で活動内容を大幅に制限せざるを得ない状況となりましたが、協議会発足当初に地域づくりの指針として策定された「夢プラン」を手引きとして、様々な取り組みをして参りました。この活動は、自主的で、身の丈にあったものであり、将来的な白木半島の振興・発展を目指したものであります。

芽が育ってきました

これまで私たちは、共同で清掃活動をしたり、祭りや各自治会の行事など自治会の枠を超えて連携を進め、また、周防大島町とも連携しつつ空家空地の活用、定住促進に取り組んできました。

その結果、新しく島に定住した人の中には家を建てたり、店を開いたり、ビジネスをしつつ自治会の役員を担う若者も出てきています。コミュニティ協議会への移住相談やお試し暮らしをきっかけに、この5年間で11組21名が周防大島に定住し、6組が起業したことに加え、関係・交流人口も増えています。高齢化と人口減少著しい白木半島地区ですが、コミュニティの将来に向けた新しい芽が着実に育っています。

拠点施設、キャンプ場オープン

コミュニティ協議会の動きと連動するように、白木半島地区の最も貴重な財産である豊かな「自然」を生かした施設が二つも誕生しました。それは、地蔵小学校跡地にニホンアワサングが常設で展示されている「地家室園地拠点施設」と旧沖家室中学校跡地の「沖家室シーサイドキャンプ場」です。どちらもかつてこの地で子供達が、学び、成長し、巣立っていった大切な場所です。この跡地が交流と学習、地域活性化の拠点として新しく生まれ変わったことは、多くの関係者の皆様にとってこの上ない喜びでしょう。

力を合わせて

私たちの暮らす白木半島には、美しい海や山、ニホンアワサングの世界的な群生地があります。そして、古来より海上交通の要衝としての歴史や文化、暮らしが残っています。その貴重な資源を再発見し、活用する道を探っていこうではありませんか。これからも力を合わせてチャレンジしていきましょう！



周防大島町地家室園地拠点施設、環境省地家室園地休憩所が開所致しました。

目の前の海域には、世界最大級とも言われているニホンアワサンゴの生息域があり、その保全、観察を主に白木半島の活性化を目的として開所された施設になります。もとは、地蔵小学校と言う小学校跡地に建てられた施設であることから地元の皆様にとっては、ただ新しくできた建物という以上に、思い出深い場所であろうかと思います。

開所して1ヶ月半程が経過しましたが、たくさんの方にお越し頂き、お客様たちからは、建物の真新しい木の香り、ニホンアワサンゴの愛らしさ、目の前の美しい景色、多数のお褒めの言葉をいただいております。

施設内は、飲食可能です！ただ、自販機以外の販売が無いので、お茶菓子、お弁当をお持ち頂き、ゆったり地家室からの景色をご堪能ください。

環境省側の休憩所には、多目的室というだっ広い部屋があり、無料でお貸し出しできます！利用目的や、事前申請等の手続きが必要にはなりますが、お気軽にお問い合わせください。

他にも無料でお使いいただけるお湯のシャワー室、足洗い場、水のシャワーなど、完備！海で遊んだ後にゆったり休憩していただけるのも施設の醍醐味になります。皆さまにとって思い出の地にできた地家室園地を、思い出の深い施設にしていきたいとおもっております。。

ご自宅からみる景色とほんの少しだけかもですが違う景色、香り、何より、ご自宅では、みることのできない、『海の花束』と言われるニホンアワサンゴを是非、見ていただきたいと思います！



こんにちは。沖家室シーサイドキャンプ場管理人です。おかげ様でキャンプ場はオープンから半年が経過しました。その間、地域の皆様や応援してくださる皆様のおかげで、大きなトラブルもなく運営できていること、ほんと胸をなでおろすと同時に、皆様には感謝の思いでいっぱいです。お客さんの多くは広島からいらっしゃるのですが、

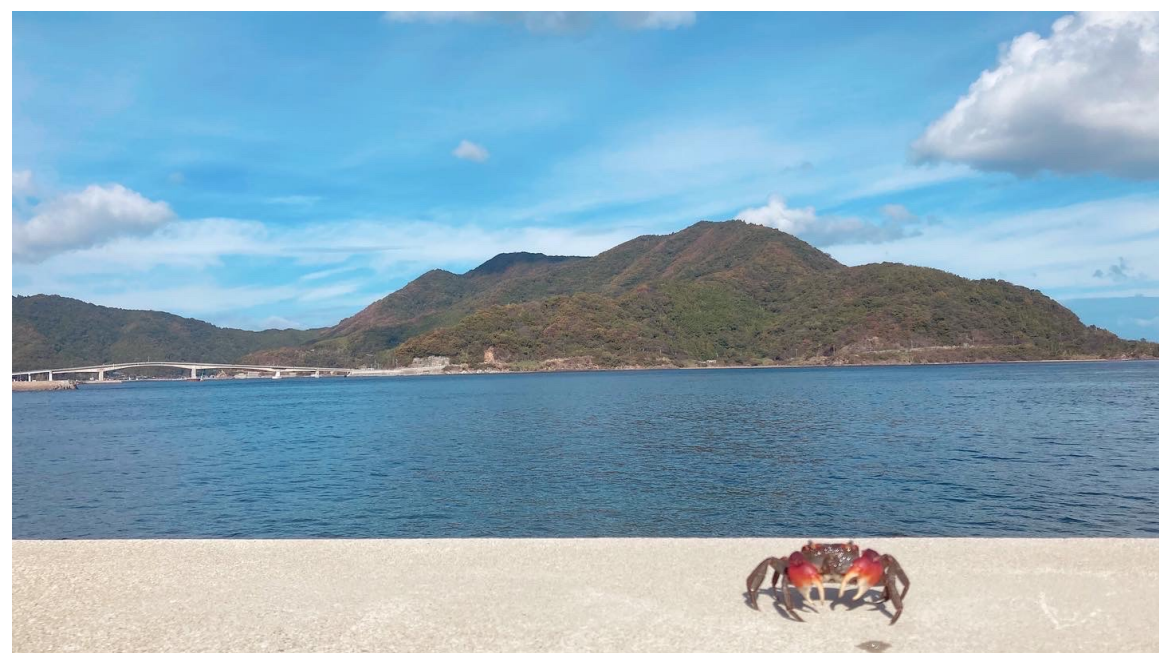
皆さん口を揃えて「良いところだね。」と、沖家室での“島じかん”を満喫されています。雑音が少なく、静かで自然音たっぷりの沖家室でのキャンプは、家族や子供との大切な思い出の1ページとなっていることでしょう。地域の豊かな自然や文化を守り、次の世代に伝えていける場所にしていきたいですね。

沖家室に移住しました

〇さん（30代）



幼いころから、海・山・川で遊ぶのが大好きで、活発な子供でした。沖家室に移住を決めたきっかけは、目の前が海で自然を身近に感じられるところと、歴史深い漁村の雰囲気が気に入ったことです。幸いにもコミュニティ協議会の紹介で、住みたい空き家を見つけることができました。



家の状態が良好なことや、窓から海が見えるといった点は勿論ですが、家主さんやそのご家族と直接やり取りができ、安心感があったことが大きな決め手となりました。地域住民の方々と一緒に清掃活動に参加したり、日々の会話も楽しく、移住前よりも人との繋がりが増えて楽しい日々を送れています。

（空き家提供者・Mさん）本当に良い方に恵まれて、地域のためにも、私たち自身もご紹介いただき良かったです。

白木半島地区の皆さんならどなたでもご出品できます

沖家室シーサイドキャンプ場&地家室園地拠点施設の「直売所」



白木半島地区コミュニティ協議会（小積、大積、地家室、伊崎、沖家室、佐連）の方々がご活用いただける産直市用の棚を設置しておりますので、出品者を募集します。

販売場所	沖家室シーサイドキャンプ場	地家室園地拠点施設
定休日	水曜日	水曜日
棚の場所	管理棟前	屋外学習広場 （自動販売機付近）
出品時間	9時～10時	9時～10時
回収時間	16時30分までに	16時30分までに
休業情報等	http://okikamuro-seaside-camp.jp/	祝日の場合は翌日は休業

【出品方法】新たに出品されたい方がいらっしゃる場合は、とりまとめを行い周防大島町に報告をする必要があるため、白木半島地区コミュニティ協議会事務局（080-4343-6055）まで①お名前と所属自治会、②出品予定の商品をお知らせください。お電話連絡をいただいた後は、各施設に直接商品を持参ください。

<その他のご留意事項>

- ※運営者である周防大島町は、場所を提供しているだけです。①品出し、②料金箱の設置・回収、③料金表示やPOPなどの設置は出品者各自の責任において実施し、商品管理も各自実施するよう町より連絡を受けております（責任問題に発展しないように、同施設の管理人が料金収受や商品管理を行わないようにとのことです。商品は原則、出品者ご自身で毎日品出し、回収をしてください）。
- ・現場管理人の指示があった場合には、その指示を最優先としてください。
- ・平日は来客数が限定的であるため、まずは休日を中心にご活用いただくのが良いのではないかと思います。また、立地の特性上、雨天・強風時は来場が少ないことが想定されるため晴天時や連休などを狙ってのご出品がオススメです。
- ・気温が上がってきますので、直射日光含む屋外で保管した場合品質が著しく劣化する商品にご留意ください。

集落支援員の引き継ぎ手を募集します

集落支援員・榮 大吾

2018年から皆様のお世話になり、白木半島での暮らし・活動をスタートしてからはや6年目となりました。色々な方からそれはそれは多くのことを教えていただき、お陰様でこの数年で自治会の役員（今年度から佐連の副会長を拝命しました）、消防団の分団長を任せていただいたことに加え、漁協、農協の正組合員にもなることができ、これから益々頑張らなければと肩に力が入っています！そして佐連に自宅も建て、いよいよこの地区に骨を埋めることになりそうです。これも、新参者の若造に皆様が温かくチャレンジの機会を作ってください、ご期待をかけていただいたおかげです。

お世話になりっぱなしではなく、次は受けたご恩を返す番…と、これから、周防大島町とも連携しつつ集落支援員の後任の募集、選定、育成を進めてまいります。形式的には退任となりますが、一人の地域住民として、いつまでも生業としてこのコミュニティ活動に参加できれば幸いです。人によって幸せや豊かさの価値観は異なりますが、私にとっては今のここでの暮らし、皆様とのやりとりが何よりの幸せであり豊かな日常です。改めていつもありがとうございます & お世話になりました & これからも引き続きよろしく願いいたします！！